

一般会計予算決算常任委員会
理科大分科会記録

令和元年 1 2 月 4 日

【開催日】 令和元年12月4日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前11時42分～午前11時51分

【出席委員】

分科会長	高松秀樹	副分科会長	藤岡修美
委員	奥良秀	委員	笹木慶之
委員	中村博行	委員	松尾数則
委員	森山喜久	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【執行部】

副市長	古川博三	大学推進室長	大谷剛士
大学推進室室長補佐	山本玄	大学推進室主任主事	尼崎幸太

【事務局出席者】

事務局長	沼口宏	議事係長	中村潤之介
------	-----	------	-------

【付議事項】

- 1 議案第85号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算（第4回）について
(理科大分科会所管分)

午前11時42分 開会

高松秀樹分科会長 それでは、ただいまより一般会計予算決算常任委員会理科大分科会を始めます。本日は、議案第85号令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算（第4回）の理科大部分について、まず歳出の説明を執行部からお願いします。

大谷大学推進室長 議案第85号令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算

(第4回)に係る大学費関係分につきまして御説明します。まず、歳出から御説明しますので、補正予算書の32ページ、33ページをお開きください。2款総務費、7項大学費、1目大学費につきまして、補正前の額20億6,198万4,000円を225万円増額し、補正後の額を20億6,423万4,000円とするものです。このたびの補正の具体的な内容につきまして御説明しますので、補正予算書の34ページ、35ページをお開きください。まず、3節職員手当等の25万円の増額につきましては、大学施設整備事業に伴う関係職員——建設関係になりますが——の時間外勤務手当を増額するものです。これにより、補正前の額20万円が補正後に45万円となります。次に、25節積立金の200万円の増額につきましては、団体・企業から山陽小野田市立山口東京理科大学の発展に寄与することを目的とした指定寄附を頂いたもので、これを公立大学法人の健全な運営等を支援するために市が設置しました公立大学法人運営基金に積み立てるものです。なお、現時点における予算上の基金残高は7億2,295万1,766円ですので、このたびの積立額200万円を加えた後の予算上の基金残高は7億2,495万1,766円となります。頂いた寄附金の内訳につきましては、メスキュード医療安全基金から100万円、株式会社ライジングホールディングスから100万円となっております。なお、メスキュード医療安全基金からの寄附金につきましては、平成30年度末に頂いたものです。ちなみに、メスキュード医療安全基金からは、平成27年度から寄附を頂いており、このたびの寄附金を加えてこれまでに400万円を、株式会社ライジングホールディングスからは、平成30年度から頂いており、これまでに200万円を寄附金として頂いております。続いて、歳入について御説明します。補正予算書の16ページ、17ページをお開きください。18款寄附金、1項寄附金、4目総務費寄附金、1節総務費寄附金、総務費寄附金を100万円増額しております。これは、株式会社ライジングホールディングスから山口東京理科大学薬学部の開設に伴い、

広くその発展に寄与することを目的に頂いた指定寄附金です。当該寄附金につきましては、歳出で御説明しましたが、このたびの補正により公立大学法人運営基金に積み立てることとしております。以上で説明を終わります。御審議のほど、よろしく申し上げます。

高松秀樹分科会長 執行部からの説明が終わりました。委員からの質疑を求めます。

山田伸幸委員 今、この指定寄附を運営基金積立金に積み上げるという説明を受けたんですが、積み立てた部分は今までどのように使われてきたんでしょうか。ただ、積み上げられたままなんですか。

大谷大学推進室長 これまで積み立てられた寄附金につきましては、運営費交付金の財源として、大学に交付しています。

山田伸幸委員 大学では、どのように使われたかというのまでは分かっていないんでしょうか。

大谷大学推進室長 今までの寄附金につきましては今年度の予算の中に含まれておりますので、ちょっとまだ内容等については確認しておりませんが、こういった旨の寄附金が交付金の中に入っておりますと大学には御説明しております。

山田伸幸委員 それと、整備事業に関わることで、危険物倉庫の建て替えがあったと思うんですけど、現在の進捗状況について説明してください。

大谷大学推進室長 こちらのほうにつきましては、先般の議会のほうで委託料の補正をしていただきまして、入札も終わりました設計業者も決まっております。作業につきましては、設計業者の中と詰めておる段階でして、設計が無事終わり予算が要求できるようになれば、また工事費としてま

たお願いをするかと思えます。

笹木慶之委員 歳出で積立金が200万円になっておりますが、歳入は先ほど100万円の説明がありました。ほかの100万円はどこから持ってきたんですか。

山本大学推進室室長補佐 200万円の積立金に対して、寄附金は100万円ですが、残りの100万円につきましては一般財源ということで、これはなぜかといいますと、以前もこの議論はありましたが、平成30年度に100万円頂いたもの、これは頂いたタイミング上、予算化、それを積み立てるという予算を予算化できませんでした。したがって、平成30年度の中で剰余金という形で今年度に繰り越されてきています。ですから、それを担保として、積みなかった100万円相当額は、一般財源で措置する形で積むということです。

笹木慶之委員 その説明をきちんと最初からされないと、出と入りが違うじゃないですか。だから、ちょっと変則的な形だけど、このパターンはあると思うんですよ。だから、今後も、やっぱりそれはつじつまを合わせた説明をしてほしいと思います。

吉永美子委員 先ほど、時間外勤務手当の説明で、私の聞き間違いでなければ当初20万円、それに25万円を足したってということですよ。それで45万円になったということは、当初の計画自体が少なく見積りとか予算計上し過ぎたのか、それか時間外にやらないといけないことがすごく増えたのか、その点についてお知らせください。

大谷大学推進室長 当初、どれだけ時間外が掛かるかということにつきましては、お願いする建設部に依頼して出していただいたんですが、ちょっとその中で頂いたのが当初20万円ということだったんですが、ちょっと漏れていたものがあった、当初計算する中でちょっと合っていなかった

のがあったということをお聞きして、このたび実際に年度末に向かっての工事等の状況を見る中で、あと25万円必要ということで、このたび予算を要求させていただいたということです。

山田伸幸委員 要するに、これはまだ工事が完了してないところへの業務が引き続き行われるということですのでよろしいんですね。ですから、先ほど聞いた危険物倉庫というのが、それに当たるんじゃないかなというふうに思って聞いたんですが、それでよろしいですか。

大谷大学推進室長 今、外構のほうをしております、それに掛かる時間外というふうになります。

高松秀樹分科会長 ほかに、質疑がありますか。ありませんか。それでは、以上で一般会計予算決算常任委員会理科大分科会を終わります。お疲れ様でした。

午前11時51分 散会

令和元年（2019年）12月4日

一般会計予算決算常任委員会理科大分科会長 高松秀樹